記者発表資料

令和　元年　７月　４日
山形河川国道事務所

小・中学生が最上川で水質調査！
～川の生き物から水質を調べ、川の大切さを学ぶ～

山形河川国道事務所では、最上川上流の水質を評価するため、また調査を通じて水質保全の必要性や河川愛護の重要性に対する認識や関心を高めてもらうため、地元の小学生、中学生と一緒に身近な最上川の水生生物調査等を実施します。

※川の中には様々な生き物が棲んでいますが、特に川底に棲んでいる生き物は、水質の状況を表す一つの指標としてとらえられており、どのような生き物が棲んでいるかを調べることによって、その地点の水質の程度を簡易的に知ることができます。

１．実施予定

①令和元年７月９日（火）　9:50頃～２時間程度
　場　所：長井市小出 地内
　　（長井橋上流左岸河川敷）
　参加者：長井市立平野小学校（約20名）

②令和元年７月１２日（金）　10:00頃～２時間程度
　場　所：高畠町上平柳 地内
　　（平柳橋下流左岸河川敷）
　参加者：川西町立吉島小学校（約20名）

③令和元年７月１９日（金）　9:50頃～２時間程度
　場　所：寒河江市大字島 地内
　　（長崎鉄道橋下流左岸河川敷）
　参加者：中山町立中山中学校（約20名）

④令和元年７月３０日（火）　9:20頃～２時間程度
　場　所：白鷹町大字広野 地内
　　（睦橋下流右岸河川敷）
　参加者：長井市致芳地区公民館、
　　長井市立致芳小学校（約30名）





２．その他
・随時取材可能です。
・天候不良や河川の状況により中止する可能性がありますので、
　事前に下記問い合わせ先に連絡をお願いします。

〈発表記者会：山形県政記者クラブ・米沢記者倶楽部〉

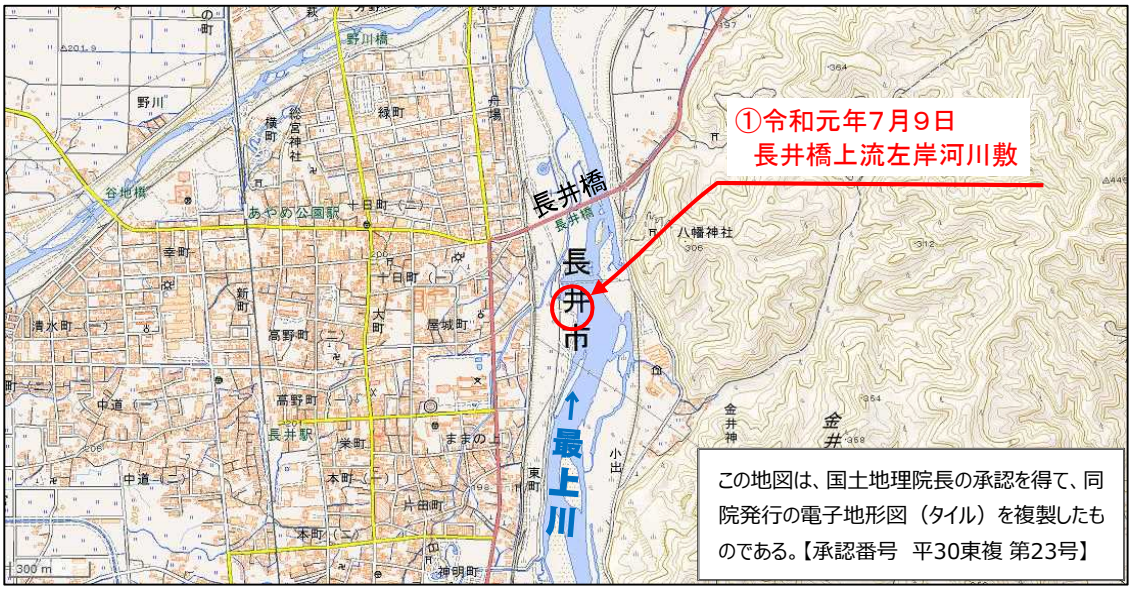
問　い　合　わ　せ　先

国土交通省

国土交通省　東北地方整備局　山形河川国道事務所
〒990 － 9580　山形市成沢西四丁目３番５５号
ＴＥＬ　０２３（６８８）８４２１（代表）
副所長（河川担当）　髙橋（たかはし）　秀（しげる）　（内線２０４）
河川管理課長　藤原（ふじわら）　孝徳（こうとく）　（内線３３１）

【位置図】

①令和元年 7月9日（火） 長井橋上流左岸河川敷



②令和元年 7月12日（金） 平柳橋下流左岸河川敷



【位置図】

③令和元年7月19日（金） 長崎鉄道橋下流左岸河川



④令和元年 7月30日（火） 睦橋下流右岸河川



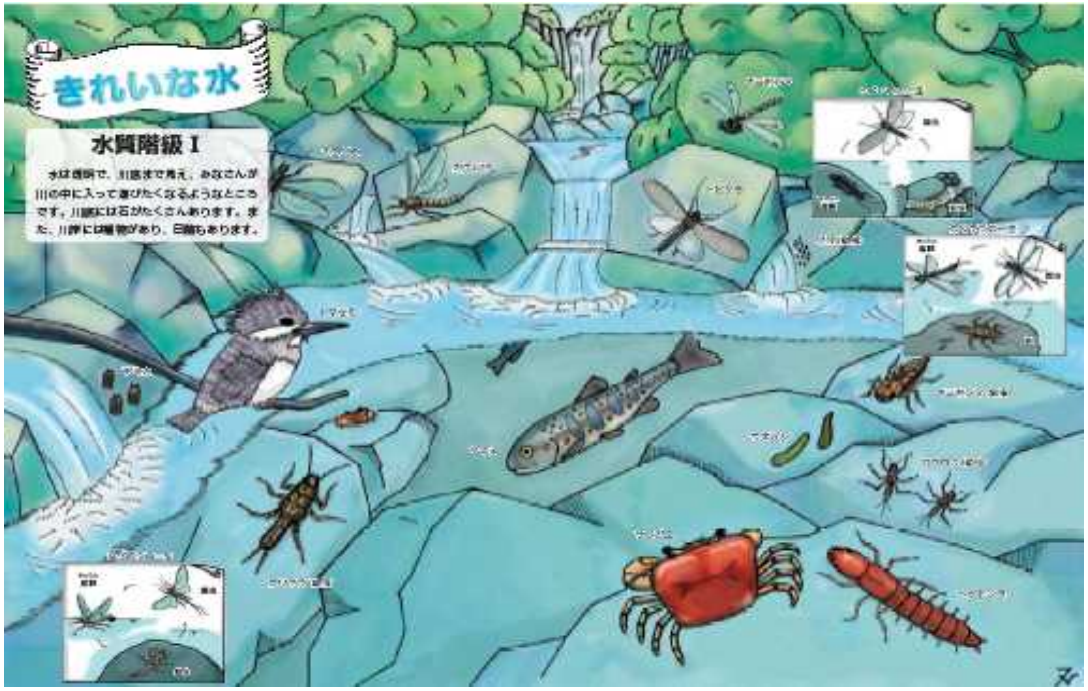
全国水生生物調査の概要

【参考1】

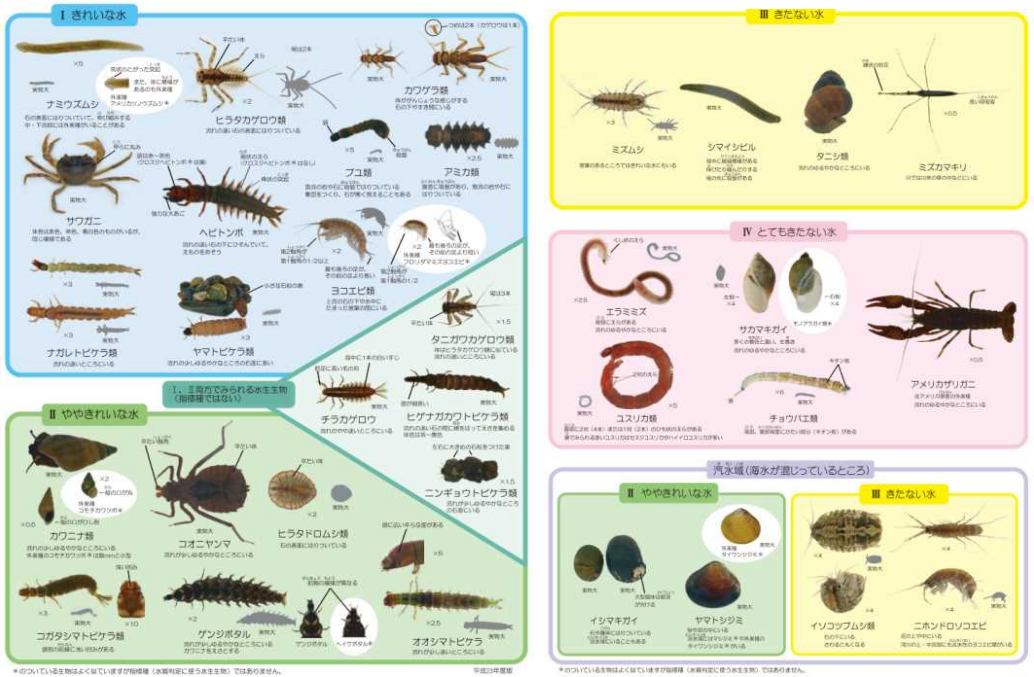
川の中には様々な生きものが住んでいますが、特に川底に住んでいる生きものは、過去から調査時点までの長い時間の水質の状況を反映したものであり、どのような生きものが住んでいるかを調べることにより、その地点の水質の程度を知ることができます。この調査は、適切な指導のもとの、小学生、中学生、高校生、一般の人々のだれもが簡単にできるようになっています。

調査方法

本調査では、河川に生息する水生生物のうち、①全国各地に広く分布し、②分類が容易で、③水質に係る指標性が高い、29種を指標生物としています。
河川で水生生物を採集し指標生物の同定・分類を行い、地点毎に、Ⅰ（きれいな水）、Ⅱ（ややきれいな水）、Ⅲ（きたない水）、Ⅳ（とてもきたない水）の4階級で水質の状況を判定しています。



水質階級と指標生物



きれいな水（Ⅰ）の指標生物		ややきれいな水（Ⅱ）の指標生物	
ナミウズムシ	サワガニ	カワニナ類	コオニヤンマ
ヒラタカゲロウ類	カワゲラ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ
ヘビトンボ	ナガレトビケラ類	ヒラタドロムシ類	ゲンジボタル
ヤマトビケラ類	ブユ類	○ ヤマトシジミ	○ イシマキガイ
アミカ類	ヨコエビ類		
きたない水（Ⅲ）の指標生物		**とてもきたない水（Ⅳ）の指標生物**	
タニシ類	シマイシビル	サカマキガイ	エラミミズ
ミズムシ	ミズカマキリ	アメリカザリガニ	ユスリカ類
○ ニホンドロソコエビ	○ イソコツブムシ類	チョウバエ類	
Ⅰ，Ⅱ両方で見られる水生生物（指標生物ではない）			
ヒゲナガカワトビケラ類	ニンギョウトビケラ類		
タニガワカゲロウ類	チラカゲロウ		

注）○は海水の少し混ざっている汽水域（キスイイキ）の生物